

平成25年 2 月宮崎県定例県議会
地域医療対策特別委員会会議録

平成25年 3 月18日

場 所 第3委員会室

平成25年3月18日(月曜日)

午前10時0分開会

会議に付した案件

協議事項

1. 委員会報告書について
2. 委員長報告(案)について
3. その他

出席委員(12人)

委 員 長	田 口 雄 二
副 委 員 長	十 屋 幸 平
委 員	福 田 作 弥
委 員	井 本 英 雄
委 員	山 下 博 三
委 員	黒 木 正 一
委 員	二 見 康 之
委 員	清 山 知 憲
委 員	渡 辺 創
委 員	鳥 飼 謙 二
委 員	重 松 幸 次 郎
委 員	有 岡 浩 一

欠 席 委 員 (な し)

委 員 外 議 員 (な し)

事務局職員出席者

政策調査課主任主事	黒 田 裕 司
政策調査課副主幹	山 口 修 三

田口委員長 ただいまから地域医療対策特別委員会を開会いたします。

まず、はじめに1点御報告いたします。

3月8日に開催されました政策条例検討会議において、当委員会できりまとめました条例案

について説明を行ったところ、当委員会を発議者として、今定例会の最終日に提案することとなりました。なお、その後、条例を広く県民へ周知し、理解を深めていただくため、正副委員長が代表して、記者発表をさせていただきましたので、併せて御報告いたします。

本日の委員会の日程についてでありますがお手元に配付の日程(案)のとおり、取り進めたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定いたします。

次に、委員会の傍聴についてお諮りします。宮崎市の山田健裕氏が本日の委員会を傍聴したいとの申し出がありました。これを許可することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、傍聴人の入室を認めることとします。それでは、傍聴人入室のため暫時休憩します。

午前10時2分休憩

午前10時3分再開

田口委員長 委員会を再開します。

まず、はじめに傍聴をされる皆様にお願ひします。

当委員会の審議を円滑に進めるため、静かに傍聴してください。

また、傍聴に関する指示については、速やかに従っていただくよう願ひします。

協議に入らせていただきます。

委員会報告書につきましては、既に、皆様の御了解をいただいているところでありますが、3月21日の定例会最終日に、3つの特別委員会報告書を合冊して、議場に配付させていただきますので、御了承いただきたいと思ひます。

次に、同じく定例会最終日の本会議で行います委員長報告（案）についてであります。お手元に配付の委員長報告（案）をごらんください。委員会報告書を要約した形で、作成しております。この場でそれぞれごらんいただきまして、御意見等がございましたら、お願いいたします。

有岡委員 委員長報告の2ページですが、宮崎大学の医学部生が23年度に行った調査について、その時の実態だったんでしょけども、県内全域で見たときにこれだけが一人歩きした経緯がありまして、この事例を出していいかどうか検証する必要があると考えていまして、可能であればこの部分を削除していただいて、普及啓発が必要だという意味であれば、県が示しているような総合医療情報システム等の情報提供を今後とも活用すべきだとか、具体的な対策を入れる方が親切じゃないかと感じましたのでご検討いただきたいと思っております。

田口委員長 これは一年間のまとめの中には当然入っていることなのですが、報告としてそのようにした方がいいですか。

有岡委員 7割の軽症患者という表現が一人歩きしてしまうと誤解を招くと考えたものですから、情報提供するという具体的な話を入れる方が説明としてはわかりやすいと感じたものですから。提案です。

清山委員 一人歩きとはどういう意味かお伺いしたいのですが。

有岡委員 救急患者の7割以上が軽症患者で、また、実際に60代以上の患者が少なかったという実態調査の結果ですが、県内の救急医療体制の中で他の地域とは合わないというのを聞いたことがあります。この調査結果が一人歩きするとどうなのかというのを以前聞いたことがあります。数字的なものが実態としては宮崎市

の夜間急病センターではそうでしょうが、少し抵抗があります。

逆に書いた方がいいということであればよろしいんですが、気になったところでした。

田口委員長 これは、宮崎市夜間急病センターでの実態調査の結果ですから。

鳥飼委員 受診抑制ということにつながるよという気持ちもあるのかなと。私どもも受診する場合、また、家族とか知り合いが受診する場合などあるんですけども、結果として受診抑制につながっていったら重大なことになるので、少し考えておくべきところかなという気はします。

渡辺委員 直接今のお二人の話に結びつく訳ではないのですが、条例や特別委員会の取組はそういうものではないと説明したのですが、報道等があった後に、既に病気を抱えてらっしゃる方から、医療を必要とする方々が診療にいけないというマインドになったり、治療にかかること自体がよくないという空気感につながるのではないかという危惧の声がありました。

条例の狙いも委員会の取組もまったく違うものだという御説明はしましたが、そういう声があったということだけ御報告したいと思っております。

清山委員 やはり今まで安心安全のために何かあったら病院に行くという、そういう声に政治というのは迎合しがちという言い過ぎかもしれませんが、なかなか行政も対応せざるを得なかった部分がずっとあった中で、こういった条例が出てくるとするのは画期的じゃないかと思っております。受診抑制というのは常に気を払いながらも、こうしたメッセージを今回出すというのは大事なかなと思っております。そして、60代以上の受診者が少ないという結果も、まさに受診抑制にも警告を発しているという意味があると思

うので、60代以上の高齢者こそ多くなくてはならないのに、受診されている方が若い人が多いというのは、受診すべき人が受診していなくて、軽症な人が多く受診している、そういう意味で私はいいと思います。

鳥飼委員 一年間の成果だと思えますが、実際は5年前から議論してきて、清山委員等が来る前からやってきて、成果になった訳ですから、経緯をずっと知っている者からすると当然のことが書いてあると思います。ただ、報道では自主規制みたいなことの報道があったものですから、そこがちょっと気になったところです。私どもとしては、記者会見で説明していただいたことをしっかり伝えていくということと、執行部なり関係機関に意見交換の場を通じて伝えていくことかなと思います。

井本委員 わからないんだけど。基本的に一次医療は市町村が担当して、二次医療は病院というのは当たり前です。二次医療のところには軽症患者が来てるからおかしいですよ、自主規制してくださいよというのは当たり前のような気がするんだけど、それがいけないという話ですか。自主規制してくださいと我々は今まで言ってきたんですが、それがおかしいという話ですか。

有岡委員 そういう意見があったという御報告です。

田口委員長 もともこの条例は前文の部分に思いを入れてあります。第一は県民一人ひとりが安心安全な医療を安定的に受けられるということを含めて、そのためには何が必要かということで今回この条例を定める訳ですので、そのあたりを御理解をいただければと思うのですが。

山下委員 もっともの事なんですけど、コンビニ受診とかを改善するために、医療の条例を

やってきたと思います。その中でかかりつけ医を持ちなさいということが条例の中の県民の役割として出ている訳ですから、いいのかなと思うのですが。

田口委員長 有岡委員よろしいでしょうか。
有岡委員 はい。

田口委員長 ありがとうございます。そのほかにご覧いませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

田口委員長 それでは、ないようですので、案のとおり報告を行うこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

田口委員長 次に協議事項の(3)その他であります。何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

田口委員長 それでは、ないようですので、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思えますが、最後の委員会となりますので、閉会にあたりまして、私の方から、一言御挨拶を申し上げます。

今年一年間大変お世話になりありがとうございました。宮崎県の大変厳しい医療状況をなんとかしたいという思いで、今回条例の制定に向けて皆様と非常に熱心な協議をしながら進めてきましたが、大変良い条例案がまとまったのではないかと考えております。皆様の御協力に心から感謝を申し上げたいと思います。21日が正式に決定ですので、最後の最後までしっかりまともてまいりたいと思います。とは言いながらも、本県の医療状況はとてもまだ安心安全というわけではありませんので、引き続き私たち議員も真剣に取り組んで安心安全な医療を提供できるような形に持って行かなければならないと思います。一年間御協力いただきまして本当に

ありがとうございました。

十屋副委員長 それでは、副委員長の私の方からもお礼を申し上げたいと思います。医療の特別委員会は3年目だと思います。歯科条例をつくり、がん条例をつくり、そして最終的には地域医療を守る、育てるという条例に行き着いた訳ですが、やはり県の医療行政にとりましては緒に就いたばかりだと思います。この委員会は今年度で終わりますけども、それぞれの議員の立場の中で、県内の医療状況の改善に貢献されていければと思っていますので、それぞれ委員の皆様は御協力いただきたいと思います。

最後に一年間副委員長を務めさせていただきましたけども、皆様の温かい御支援に感謝申し上げます。私のお礼の言葉とさせていただきます。

田口委員長 それでは、以上をもちまして、地域医療対策特別委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、一年間大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

午前10時17分閉会